



松阪市不育症治療費助成のご案内



厚生労働省では、妊娠はするものの2回以上繰り返す流産や死産などによって、赤ちゃんを授けられないことを不育症としています

●対象となる方（次のすべての要件を満たしている方）

- ・生殖医療専門医が所属する医療機関等市が指定する医療機関において、不育症と診断され、その治療をうけている夫婦（事実婚可）
- ・夫婦どちらか一方、又は双方が治療期間および助成金申請日において松阪市内に住所を有すること

●対象となる治療

- ・市が指定する医療機関において夫婦が受けた不育症の治療及びその治療に係る検査に要した費用

[市が指定する医療機関]

1. 厚生労働省不育症研究班に所属する医療機関
2. 日本生殖医学会の認定する生殖医療専門医が所属する医療機関
3. 1・2の医療機関から紹介された医療機関
4. 1・2と同等の能力を有すると認められる医療機関
5. 三重県特定不妊治療費助成事業指定医療機関

[助成対象外となるもの]

- ① 医療保険各法の規定に基づく保険給付が適用される不育症治療等の費用
- ② 入院時の差額ベッド代、食事代、文書料等の費用
- ③ 処方せんによらない医薬品等の費用
- ④ 三重県不育症検査費用（先進医療）助成事業で助成された検査費用
- ⑤ 他の地方公共団体で助成されていた期間に係る不育症治療等の費用

●助成の内容

- ①助成額：1つの治療期間における助成対象費用に対し、上限10万円
*不育症治療や不育症に関する検査を開始した日から出産（流産・死産等を含む）までが1つの治療期間となります。
- ②申請回数：1年度あたり1回
- ③申請期間：不育症治療等を開始した日の属する年度の翌年度末日まで（郵送でも申請可）
*1回の治療が2年度以上にわたる場合、年度ごとに1回限りとして申請できます。

●申請書類（すべて原本が必要です。）

必要な書類	法律婚			事実婚
	同一世帯	市内別世帯	一方が市外	
① 松阪市不育症治療費補助金交付申請書兼実績報告書兼請求書	○	○	○	○
② 不育症治療費助成事業受診等証明書	○	○	○	○
③ 医療機関発行の領収書	○	○	○	○
④ 住民票			○	○
⑤ 戸籍謄本		○	○	○
⑥ 申立書、意向書				○

●ご注意ください●

助成金を申請される方で、確定申告の医療費控除を予定している方は、先に不育症治療費の助成を受けた後に、確定申告をしてください。

これは、決定された助成額を差し引いた額が、医療費控除の対象額となるためです。

●申請先及び問い合わせ先

申請場所	所在地	電話番号
こども家庭センター （健康センターはるる内）	〒515-0078 松阪市春日町一丁目19番地	(0598) 20-8087
嬉野保健センター	〒515-2324 松阪市嬉野町1434番地	(0598) 48-3812
飯南地域振興局地域住民課	〒515-1411 松阪市飯南町粥見3950番地	(0598) 32-8020
飯高地域振興局地域住民課	〒515-1592 松阪市飯高町宮前180番地	(0598) 46-7112